

私たち一人ひとりが描いていく
脱炭素ですてきな未来

ZERO
チャレ

京丹後

ZEROカーボン・チャレンジ



ゼロカーボンに向けて取り組んでいる 企業、団体を紹介しています

京丹後市では、気候変動対策のため、2050年までにCO₂の排出量実質ゼロをめざす「ゼロカーボンシティ」を宣言し、脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいます。





「ゼロカーボン」とは

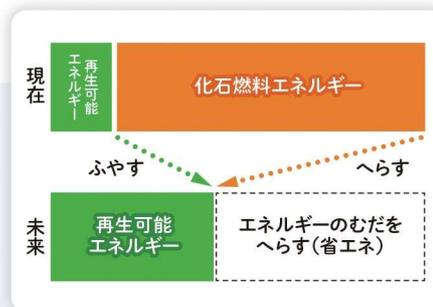
地球温暖化の原因となるCO₂（二酸化炭素）などの温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いて、実質的な排出量をゼロにすることです。

「脱炭素」や「カーボンニュートラル」とも呼ばれます。日本政府も2050年までに「実質ゼロ」をめざすことを表明しています。

「ゼロカーボン」ってどうすればいいの？

CO₂は主に石炭や石油などの化石燃料を燃やすことで発生しています。

「省エネ」をしてむだなエネルギーを減らし、必要なエネルギーはCO₂を出さない太陽光、風、水などの自然のエネルギー「再生可能エネルギー」でつくることで「ゼロ」に近づけることができます。



「ゼロカーボン」で広がる京丹後の可能性

食の地産地消の推進



.....
地元でとれたものを食べると、輸送のときに出るCO₂を削減できます。



京丹後の農林水産業が活性化！地元愛も育む！

公共交通の利用促進



.....
自家用車で移動するよりもCO₂の排出削減につながります。



利便性が向上し、住みやすい京丹後に！

地元の業者で住宅の断熱化



.....
夏の暑さや冬の寒さを防ぎ、冷暖房の使用も抑えられて省エネです。



快適な暮らしで健康長寿、経済も元気な京丹後に！

京丹後で広がる再生可能エネルギー利用

エネルギーの地産地消で、市外に流出していたエネルギー費用が市内で循環します。



市民太陽光発電所 (京丹後市)



丹後町小脇水力発電所 (関西電力)

資料提供：関西電力(株)



太陽光発電+電気自動車充電設備 (京丹後市)



木質チップボイラー+温泉施設 (京丹後市)

これら以外にもたくさんあります。

京丹後の豊かな自然を活かした再生可能エネルギーの利用をさらに進めていきましょう！

一般社団法人 京丹後青年会議所

＼ ZEROカーボン・チャレンジ宣言 ＼

SDGs の様々な取組と「食材の地産地消促進」と「ごみを減らす」ことで CO₂ を削減します。

ZERO
チャレ

地域を食材でつなぐ プラットフォームづくり

地域の生産者と消費者をつなぐ「JOINTango - 食でつながるプラットフォーム -」をつくり、運営しています。地域でつくられたものも、それを買う地域の人とつながらなければ地域で購入できません。食材が豊かな京丹後だからこそ、地域の人においしく食べてもらいたい。そんな思いを実現するのがこのプラットフォームです。

また、地域でつくられたものを地域で消費できれば、輸送が大幅に減り、輸送に係る CO₂ が削減できます。同時に地元の生産者にしっかりとお金の回る仕組みができれば、地域経済の活性化につながり、好循環を生み出し、豊かな京丹後を実現できます。



ZERO
チャレ

生ごみの堆肥化で CO₂ 削減

メンバー自身が取り組み広められる活動として、生ごみ削減に向けたコンポストを各家庭で実践しています。自らが率先して家庭で行うことで、地域にも広げられるリーダーになっていきたいと考えています。

生ごみは、そのまま捨てるとうちで燃やされますが、水分が約8割と多いので焼却効率が落ちてしまいます。それをコンポストによって堆肥化すると、燃やすごみが減り、焼却炉の効率も上がり、焼却に伴う CO₂ も削減することができます。燃やしていたものが有機肥料にもなり、それで野菜をつくれれば資源が循環できるのです。

メッセージ



地元でとれたおいしい食べ物が手に入り、それが循環された肥料でつくられ、持続可能な生活ができるゼロカーボンシティ京丹後。次世代を担う子どもたちが、愛着を持って暮らし続けられる。そんな京丹後になってほしいですね。未来へのワクワクが地域を変える！ 私たち市民一人ひとりの「心躍る選択」でより良い未来を創り出していきましょう。



「百姓」という立場から「食」を通じて幸福を届ける

株式会社 野木源 のぎげん

＼ ZEROカーボン・チャレンジ宣言 /

持続可能な農業と地産地消の推進（京丹後の食材宅配サービスを作ります！）でゼロカーボンをめざします。

ZERO
チャレ

地産地消の宅配サービス

現在、減農薬や栽培期間中農薬を使用しない栽培方法で、京丹後で持続可能な農業に取り組んでいます。

そして次のステップになるのが地産地消の推進だと考えます。地産地消を推し進めるための一番の課題は、食材をどのように各家庭の食卓に登場させるかだと考えます。現在準備をしているのは、地域の調理人や食のコーディネーターに協力していただき、旬の京丹後の食材を用いたレシピを開発し、地元食材とともにレシピを各家庭に配送するサービスです。

1週間に一度、野菜、果物、お肉、乳製品、魚介、お米、パンなどが各家庭に届きます。スーパーなどに買い物に行く手間がなくなり、また、レシピがあらかじめ決まっていることでむだな食材の購入もなくなり、効率的です。フードロス対策にもつながります。



ZERO
チャレ

地産地消で温暖化に歯止めをかけよう！

地元でとれたものを食べることで、遠くから食料を運んでくる場合と比べ、食品の輸送に係るエネルギー消費を減らし、温室効果ガスなどの削減になります。また、食材を買いに行く手間が省けることで、休日の過ごし方に幅が広がるはずですよ。

地産地消を意識的に行わずとも、この宅配サービスを利用することで地産地消につながり、フード・マイルージ削減に貢献、ひいては個人個人がゼロカーボンチャレンジにも貢献できます。

メッセージ



野木源は、モノだけでなく丹後を愛する人や思いを集め、ふるさと丹後から近畿、全国、世界へと丹後の魅力であるモノやヒト、思いを発信する「源」となっていきます。ぜひ未来の京丹後に向けてつながっていきましょう。

●株式会社野木源

京都府京丹後市丹後町大山1011 Instagram :<https://www.instagram.com/nogigen1122/>



京丹後長岡緑の少年団こどもエコクラブ

＼ ZEROカーボン・チャレンジ宣言 ＼

「どんぐりの森づくり」や「みどりのカーテンづくり」、
子どもたちの自然と社会を愛する心を育むことで、
ゼロカーボンをめざします。

ZERO
チャレ

次代につながる 「どんぐりの森」づくり

ヒノキなどの常緑樹を伐採した裏山に、コナラなど 80 本を植栽し、どんぐりがいっぱいの落葉広葉樹の森づくりを進めています。今年も 20 本を植樹します。そして今後も山の手入れや植樹を継続し、20 ～ 30 年後にシイタケ栽培の原木に活用できることをめざしています。

森林による CO₂ の吸収は、ゼロカーボンには欠かせません。荒廃した森林は CO₂ を吸収しなくなるので、山を手入れして元気な森を維持することはとても重要です。その手入れを、次代を担う子どもたちと一緒に行うことで、森への愛着を育み、継続した活動を展開することができます。



ZERO
チャレ

みどりのカーテンで省エネ&温暖化防止学習

平成 21 年度から毎年ゴーヤを植えて、長岡公民館いこいの家にみどりのカーテンをつくっています。看板を設置して長岡地区の皆さんに見ていただくとともに、効果を測定して、地球温暖化の学習につなげています。

近年の温暖化により、夏には気温が高くなります。ここ京丹後市でも冷房を利用して涼をとる時間が年々増えてきています。その対策として有効なのが夏の日差しを家の中に入れないように窓の外側で遮光することです。その遮光にもってこいなのが「ゴーヤによるみどりのカーテン」です。

子どもたちと一緒に楽しく植物を育てながら、その涼しさを実感でき、エアコンの利用時間を減らせるので温暖化対策にもなります。更に実ったゴーヤを食べることもできます。無理なく楽しく、そしておいしい取組なのです。

メッセージ

子どもたちの豊かな経験は、豊かな心を育みます。地域の皆さんと連携しながら、様々な体験活動を進めていきます。ぜひ一緒に、自然と社会を愛する純粋な心を持った子どもたちを育てていきましょう。



U設計室

＼ ZEROカーボン・チャレンジ宣言 /

「日常と風景に寄り添った家づくり」
世代をまたいで持続性のある家づくりをしていきます。

ZERO
チャレ

空き家を活用して、 持続性のある家づくりを

新築を求めておられる方にも、既存建物を持っていることのリスクや責任についてお話することで、無理な家づくりにならないか、今所有している物件が家族の未来のリスクになっていないかを一緒に考えた上で家づくりを始めるようにしています。

空き家を活用した耐震性・防湿性・断熱性・デザイン性の高い事例等を紹介し、「建てない選択肢」も提示することで、丹後における空き家の増加を抑制しようと考えています。

建築ワークショップを通じて、家のセルフメンテナンスをすることのできる人を増やし、家を大切に使うことで家が長持ちして世代をまたいだ家が残っていくようにしています。



ZERO
チャレ

廃棄物の削減や省エネ性能の 高い住宅で CO₂ 削減

新築を1棟建てる時2～3.5tの廃棄物が発生します。また、住宅を解体すると1.4t/坪程度の廃棄物が出るため35坪の家で約50tのごみが発生します。既存建物を活用することで廃棄物の削減につながります。

また、新築・リノベーションどちらでも省エネ性能の高い建物をつくり出すことができるので、エネルギー消費の少ない生活を実現できます。

メッセージ



丹後の設計事務所として、今ある風景を守りながら、次世代に問題を極力残さないような仕事をしたいと考えています。



食を通じて、人と地域とつながる

KISSUIEN Stay&Food

＼ ZEROカーボン・チャレンジ宣言 ＼

地域の食を楽しんでもらうとともに、
長寿につながる本質的な健康を追求し、提供します。
地域食材の活用とフードロス削減を推進します。

ZERO
チャレ

地域の食材で京丹後の魅力を発信

KISSUIEN Stay&Food は、京丹後の観光拠点としてご利用いただける便利な滞在拠点です。京丹後の豊かな食材を提供する料理を取り入れ、多様な方へ美味しさを知ってもらうとともに、生産者を知ってもらう機会と食の魅力を感じてもらう機会を提供しています。

京丹後には、四季折々の魅力的な食がたくさんあります。その食材を食品細胞の破壊を防ぐ高品質の凍結機などを用いることで、そのおいしさのまま保存することができるようになり、ロスなく、いつでも提供できるようになりました。



ZERO
チャレ

食の循環でフードロスを削減

朝食ビュッフェにおいて、本来ならロスになる食材が出てしまいますが、それをスタッフの昼食の一部として取り入れることで、栄養豊富な食材でスタッフの健康を推進するとともに、フードロスの削減に寄与しています。

どうしても出てしまう残飯は、分解し自社の畑の肥料とすることで、野菜を作り、食の循環へとつなげることができています。

地産地消に取り組むことは、輸送に係るエネルギーとそれに伴うCO₂を減らすことができます。フードロスを減らし、食の循環を創り出すことは、ごみの削減や肥料の削減にもつながり、持続可能なゼロカーボン地域づくりへとつながります。

メッセージ



京丹後の魅力を多くの人に知ってもらい、食を通じてつながるところ。そして、一瞬一瞬を自分らしく過ごすことが出来るまち。そんな京丹後になってほしいです。

●KISSUIEN Stay&Food

京都府京丹後市峰山町杉谷943 Tel :0772-62-5111 Fax :0772-62-5115 URL :<https://kissuien.jp/>



NPO法人 エコネット丹後

＼ ZEROカーボン・チャレンジ宣言 ＼

生き方や暮らし方を考え直し、循環型社会の形成や食とエネルギーの地産地消を進めることで、ゼロカーボンを実現し、京丹後の豊かな心と自然を次世代につないでいきます。

ZERO
チャレ

豊かな京丹後をつないでいくために

自然豊かな丹後地域でも確実に環境の変化が進んできています。自分たちが子どもの頃捕まえた虫や魚がいなくなったことに気づいた人たちが集まり、2005年に設立。生き方や暮らし方を考え直し、地域の元気と豊かな環境、そして豊かな人間関係を取り戻そうと日々活動しています。



ZERO
チャレ

「食とエネルギー」を楽しく学ぶ場づくり

使用済み天ぷら油の回収活動で可燃ごみの削減と石油の代替燃料利用を推進。また、食やエネルギーに関する地球温暖化防止に向けたワークショップやセミナー、太陽光パネルの電気を使ったイベントの開催などを通じて、子どもから大人まで楽しく学びながら、生き方や暮らしを考え直すきっかけづくりをしています。



ZERO
チャレ

ゼロカーボンに向けて 考え方、暮らし方を変えるきっかけに

ゼロカーボンを達成するには、最終的に石油石炭といった化石燃料の使用を止める必要があります。そのためには身近にあるエネルギーについて学び、すぐにでもできることから始めることが重要です。地域資源を地域で使い最後には循環させていく理想の形をめざしています。そして、私たち自身が学び、考え方や暮らし方を変えないとゼロカーボンは達成できません。そのきっかけづくりのためにワークショップやセミナーを通じて様々な体験をし、学びあう場をみんなでつくっています。

メッセージ

環境の変化の原因は全て私たちにあると思っています。石油に頼りきった暮らしは、安くて便利なので、私たちはそれを快適だと感じてしまっている日常にいます。その一方で、受け継がれた知恵や工夫や人のつながりが失われつつあります。私たちは、何を選び、何を手放すのか。ぜひ、一緒に豊かな京丹後をめざして考えていきましょう。



地域のバスの運行を守ることがゼロカーボンにつながる

丹後海陸交通株式会社（丹海バス）

＼ ZEROカーボン・チャレンジ宣言 ＼

マイカーからバスへの転換を促すための様々な取組
や改善を続け、環境に優しいバスを守っていきます。

ZERO
チャレ

公共交通を使うことで CO₂ 削減に

一度に多くの人を運べるバスはマイカーと比較してCO₂の排出量が約1/3とされ、環境に優しい乗り物です。ただ、京都府北部地域では人口減少、高齢化が進み、利用者の減少から、バス路線の維持は大きな課題となっています。

私たちは、環境負荷の低い車両の導入を進めていくとともにマイカーからバスへの転換を促すための様々な取組や改善を続け、環境に優しいバスを守っていきます。言い換えればこの地域のバスの運行を守ることがゼロカーボンにつながるものと考えています。



ZERO
チャレ

様々な取組で、利便性を向上

マイカー利用の方が少しでもバスを利用いただくために、バスの利便性の向上を図っていきます。ニーズにあったダイヤを提供し続けることはもちろんのこと、社会に浸透しつつあるキャッシュレス決済、あまり知られていませんが、通勤定期券をお持ちの方の同伴者が休日に特別運賃でバスを利用していただける「環境定期券」等をもっと周知していきます。

使用しているバスについては、環境負荷の低い車両の導入やこの地域でつくられたバイオ燃料の活用を検討していきます。

メッセージ

マイカーよりも少し不便だけれども、みなさんが少しずつ不便さを甘受しながらも、環境負荷の低いバスを含めた公共交通を積極的に利用し、ゼロカーボン社会の実現に向けて取組を進める先進的な京丹後にしていきましょう。

●丹後海陸交通株式会社

京都府与謝郡与謝野町字上山田641-1 Tel:0772-42-0326 Fax:0772-42-0349 URL:https://www.tankai.jp/



株式会社 白石バイオマス

＼ ZEROカーボン・チャレンジ宣言 ＼

バイオマスプラスチックの生産を通じて プラスチックの使用量削減に貢献します。

ZERO
チャレ

植物由来のバイオマスを活用

当社は、木、竹、デンプン、米ぬか、もみ殻といったバイオマスをそのままプラスチックに混ぜ複合化したバイオマスプラスチックの製造・販売と、それらバイオマスプラスチックを使用した製品の販売をしています。

通常プラスチックは石油からつくられていますので、その一部だけでも木や米ぬか、もみ殻といったバイオマスに置き換えれば、原料である石油の使用量を削減することができます。



木粉70%配合樹脂

米ぬか60%配合樹脂



ZERO
チャレ

プラスチック使用量の削減に

植物由来のバイオマスも焼却するとCO₂を排出します。しかしこれは、植物が成長する過程で大気中から吸収したCO₂が大気中に戻るだけなので、大気中のCO₂濃度には影響を与えない、つまり「カーボンニュートラル」と言えます。

一方、化石燃料は、数億年前の動植物の死がい長い年月をかけて石油になったものですので、数億年前のCO₂を現在の地球に大量に掘り出してばらまいている状態と言えます。

バイオマスを複合化することにより化石燃料由来のプラスチックの使用量が削減できれば、地球上のCO₂濃度の上昇を抑えることにもつながります。

メッセージ



化石燃料という非常に便利な原料を、全く使用しない社会にすることは、すぐにはできないと思います。バイオマスなどの自然のものを上手く活用しながら化石燃料に依存する社会から少しずつでも脱却していき、最終的にはゼロカーボン社会を実現してほしいです。便利な製品や暮らしを諦めるのではなく、豊かな暮らしを創造できる。そんな京丹後になっていくことを期待します。



京都北都信用金庫

＼ ZEROカーボン・チャレンジ宣言 /

「ソーシャル企業」の認証取得支援で
元気な企業を増やして
持続可能な地域社会の実現をめざします。

ZERO
チャレ

地域活性化の実現に向けて

当金庫は「地域元気宣言」を掲げ「地域活性化の実現」を最重要課題として、金融機能の提供にとどまらず、観光振興、環境保護、教育支援など、あらゆる面で「地域を元気にする」活動に取り組んでいます。その実現には、当金庫だけが進めるのではなく、地域の元気なパートナーとなる企業が必要です。

そこで、当金庫は、地域の社会課題の解決や ESG 経営（環境・社会・企業統治に配慮した経営）をめざす企業に対して、経営方針や事業内容、社会的インパクトなどを基準に認証する「ソーシャル企業認証制度」を運用し、地域の企業が認証を取得する支援を行っています。



ZERO
チャレ

地域課題の解決に取り組む 企業を応援

世界がグローバルにつながる中、SDGs（持続可能な開発目標）では、ゼロカーボンを含め様々な課題が複雑に絡み合っています。

そういった様々な課題にしっかりと向き合われる企業を増やしていくことが、地域社会のあらゆる課題解決により早く近づくものと考えます。そのため当金庫では、持続可能な地域社会の実現につながるソーシャルマインドを持った企業を応援していきます。



ソーシャル企業認証制度 S 認証
Social and Sustainable business standard

メッセージ

当金庫では、地方創生を後押しするとともに、お客さまの経営課題解決を積極的に支援しています。そして、ほくとしんきんSDGs宣言のもと、ゼロカーボンに取り組む企業を応援します。





京丹後市「2050年ゼロカーボンシティ」宣言

近年、地球温暖化が原因と考えられる気候変動がもたらす影響が世界中で観測され、様々な影響リスクが現在及び将来にわたって懸念されています。

京丹後市は国際社会の一員として、地球的規模の環境保全について地域から取り組むとともに、本市のまちづくり基本条例で掲げる「美しいふるさととの自然環境を守り次代に継承するまちづくり」をめざし、未来を生きる京丹後と世界の子どもたちのためにも、2050年までに本市の二酸化炭素排出量の実質ゼロ*をめざす「ゼロカーボンシティ」の実現へ向けて取り組むことを2020年12月に宣言しました。

*二酸化炭素などの温室効果ガス的人為的な発生源による排出量と、森林等の吸収源による除去量との間の均衡を達成すること。

京丹後 ZERO カーボン・チャレンジ宣言募集！

市民、市内の企業や団体等の皆さんが、気候変動対策として、すでに取り組んでいることや、取り組んでいきたいことを募集しています。市のホームページより宣言できます。



市ホームページ

たとえば…

輸送に係るCO₂が少なくなるように、**地産地消**でおいしい食材を地元で作って提供しています。農機具や栽培に係る肥料・農薬においても**脱炭素**をめざします。

すてきな京丹後についてみんなで語り合っ、京丹後にある**CO₂ゼロ**につながる企業を応援します。もちろん家は**ZEH (ゼッチ)***をめざします。
*ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス

使用するエネルギーを**全て地産された再エネ**を利用することをめざします。従業員とも協力し、通勤や家庭での**脱炭素化**も推進していきます。



インタビュー動画公開しています！

この冊子で紹介している企業・団体のインタビュー動画を公開しています。ぜひご覧ください。



●京丹後市市民環境部生活環境課

〒627-8567 京都府京丹後市峰山町杉谷889

TEL:0772-69-0240 FAX:0772-62-6716 メール:kankyo@city.kyotango.lg.jp

ホームページ:https://www.city.kyotango.lg.jp/top/kurashi/kankyo/2/15832.html

市のホームページより宣言できます



環境省 地球温暖化対策のための「COOL CHOICE」にも賛同をお願いします。

賛同はこちらから

